

研究タイトル:

## 留学生日本語教育



Name	浜元聡子 / HAMAMOTO Satoko	E-mail	shamamoto@ibaraki-ct.ac.jp
Status	特命准教授 (博士、人間・環境学)		
Affiliations 所属学会・協会	日本語教育学会、東南アジア学会		
Keywords	日本語教育、東南アジア地域研究、インドネシア研究、文化人類学		
Technical Support Skills 技術相談・提供可能技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教育</li> <li>・インドネシア語 (逐次通訳、翻訳、初級～中級指導)</li> <li>・東南アジア地域事情概説</li> </ul>		
Message to the Industry 産業界へのメッセージ	東南アジアの中の日本、日本の中の東南アジア、そして世界の中の日本と東南アジアで活躍する留学生教育を実践したいと考えています。		

### Research Contents 理系留学生への日本語教育実践

●日本語教育と東南アジア地域研究を学術的専門領域としています。学部時代から、長くインドネシアを中心とした島嶼部東南アジアにおける社会文化的動態の研究に従事してきました。大学の社会貢献研究活動として、2006年5月に発生した中部ジャワ島大地震とそれに前後してインドネシア国内で相次いで発生した火山噴火と地すべり災害の被災地における共同体の社会的復興支援に携わる中で、海外での日本語教育に深く関わるようになりました。日本の防災教育や災害復興支援を多面的に紹介する活動を通して、改めて日本の工学技術の国際的な貢献を目の当たりにしました。

●2013年からはインドネシア(国立ガジャマダ大学文学部日本語学科)をはじめラオス(ラオス国立大学法学部)、マレーシア(マラヤ大学予備教育部日本留学特別科)で、専門的な日本語教育と留学予備教育に従事してきました。2020年4月より、茨城高専において、タイからの留学生の日本語教育を担当しています。

●マレーシアでは、とくに日本の国立大学の理工系学部にもマレーシア政府奨学金によって留学予定の学生に日本語を指導していました。高い水準の科学技術や工学技術に憧れて、日本留学を目指して努力する学生たちをとおして、東南アジアと日本の深い歴史的な関係を改めて見つめ直したものでした。ラオスの大学では、知的財産法をはじめ国内の法律整備に将来的に取り組む学生たちの日本語教育に携わりました。科学技術の発展にはいわゆる科学技術のテクノロジーをさまざまな角度から支える人材や法律もまた必要であることを、強く実感しました。

●工業技術や科学技術をめぐる日本と世界との関わりには、多角的な視点から人々のニーズを理解する必要があると考えています。ともすれば、日本＝世界となりがちな東南アジアからの留学生には、日本の中の茨城から東南アジアにまなざしを向け、さらには世界を目指して活躍する人材になってほしいと思っています。留学生教育をとおして、わたし自身のアジアと日本の理解を時代に即しながら再構築することを楽しみつつ、茨城高専で基礎的な学力を習得するための日本語教育を実践し、より広い世界を意識しながら母国の科学技術の発展に寄与できるような幅広い人材教育を目指しています。

### Available Facilities and Equipment
